

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公開番号】特開 2000-103959 (P2000-103959A)

【公開日】平成 12 年 4 月 11 日 (2000.4.11)

【出願番号】特願 平 10-277269

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 L 75/04

C 0 8 G 18/64

D 0 6 N 3/14

【F I】

C 0 8 L 75/04

C 0 8 G 18/64

D 0 6 N 3/14 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 9 月 24 日 (2004.9.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

高分子ポリオール (a) の数平均分子量は 5 0 0 ~ 5 , 0 0 0 の範囲内であるのが好ましく、6 0 0 ~ 3 , 0 0 0 の範囲内であるのがより好ましい。なお、本明細書でいう高分子ポリオールの数平均分子量は、いずれも J I S K 1 5 5 7 に準拠して測定した水酸基価に基づいて算出した数平均分子量である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

本発明に用いられる鎖伸長剤 (b) としては特に制限はなく、通常のポリウレタンの製造に従来から使用されている鎖伸長剤のいずれを使用してもよく、イソシアネート基と反応し得る活性水素原子を分子中に 2 個以上有する分子量 4 0 0 以下の低分子化合物を用いるのが好ましい。例えば、エチレングリコール、プロピレングリコール、1, 4 - ブタンジオール、1, 6 - ヘキサジオール、1, 4 - ビス (- ヒドロキシエトキシ) ベンゼン、1, 4 - シクロヘキサジオール、ビス (- ヒドロキシエチル) テレフタレート、キシリレングリコールなどのジオール類；ヒドラジン、エチレンジアミン、プロピレンジアミン、イソホロンジアミン、ピペラジンおよびその誘導体、フェニレンジアミン、トリレンジアミン、キシリレンジアミン、アジピン酸ジヒドラジド、イソフタル酸ジヒドラジドなどのジアミン類；アミノエチルアルコール、アミノプロピルアルコールなどのアミノアルコール類などが挙げられる。これらの低分子化合物は単独で使用してもよいし、2 種以上を併用してもよい。